

なんこく 市議会だより

No. 86

平成30年(2018年)8月号

主な内容

《6月定例会市議会(第403回)》…P2

**地域おこし協力隊員
報酬増額議案可決**

《4月臨時市議会(第402回)》…P3

《6月議会一般質問》……P4~11

《常任委員会視察レポート》……P12

《議員表彰/政務活動費報告》…P13

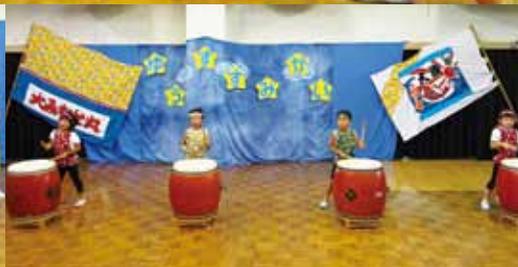
《なんこく歳時季 巻7》……P16

・土佐のまほろば祭り

◆表紙写真◆

あけぼの保育との統合が計画されている大湊保育所で、7月9日に夕涼み会が開かれました。

児童と保護者ら約60人が参加。児童の踊りや太鼓演奏、先生の演劇、花火など、七夕の行事を楽しんでいました。



発行/南国市議会
E-mail:n-gikai@city.nankoku.lg.jp

編集/市議会だより編集委員会
南国市大堀甲2301 TEL 088-880-6570 FAX 088-864-3281

第403回

6月定例市議会

地域おこし協力隊員報酬増額議案を可決

収入面の不安緩和で優良人材確保へ



第403回定例市議会は、6月12日から25日までの14日間の会期で開かれました。市長提案の議案16件、報告4件と議員発議の意見書7件の審議が行われ、全議案を可決・同意し、意見書7件を可決しました。

6月定例議会初日、市長より、市政状況及び主要な政策が報告された後、今議会へ提出された議案の提案理由が説明されました。また同日に人事案件の1件が同意となりました。休会日を除く14日から19日までの4日間は、14名の議員から一般質問として、教育、福祉、公共交通、農業など市長や関係各課への質問や提案が行われました。20日は提出議案への質疑と人事案件3件の採決が行われ、人事案件は全会一致で同意となり、残余議案は所管の常任委員会へ付託されました。

同日には、議員から「地方財政の充実・強化を求める意見書」「日本年金機構の情報セキュリティ対策の見直しを求める意見書」「日本政府が核兵器禁止条約の批准作業を進めることを求める意見書」など7件の意見書等が提出され、全7件を全会一致で可決し、閉会しました。

21日には、各常任委員会へ付託議案等の審議が行われ、25日の閉

(15ページ参照)



市政報告

4月から市町村と県が連携した「れんけいこうち広域都市圏」の取り組みが開始しました。まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づけた取り組みとの相乗効果が発揮できる連携事業を追加し、人口減少の大きな波に打ちかつことのできる圏域の形成をとにも目指したいと考えています。

本市での国営ほ場整備事業は、事業への意思確認と整備範囲の確定に向けて仮同意徴集を進めていましたが、平成29年度末までに土地所有者等との合意形成が計画どおり進まず、平成31年度からの着工は難しくなりました。現在、仮同意徴集を継続して進めており、その同意状況をもって、整備範囲を決定し、平成32年度の事業着手に向けて、地元関係者や

関係機関と協力し、詳細な整備・営農計画等を検討し、事業採択に必要なとなる事業計画書案の作成を進めていきたいと考えています。

◆主な可決議案◆

(議決結果は15ページ)

議案第1号

一般会計補正予算
補正予算の規模は、1億2千666万3千円の増額計上。

▼歳出

主な歳出は次の通り。

- ▽農林水産業費関係：
複合経営拠点支援事業費補助金に係る農業費補助金に係る農業振興育成補助金等事業費3千333万4千円及び中山間振興費412万6千円
- ▽土木費関係：瓶岩北辺地に整備を予定している橋梁の実施設計業務委託料等に係る橋梁新設改良事業費2千400万円
- ▽消防費関係：常備消

防費40万9千円、後免防災活動拠点施設整備に係る消防施設費3千820万円及び災害対応特殊救急自動車購入に係る公用車管理費2千659万4千円

議案第7号

税条例の一部を改正する条例

地方税法が改正される中小企業の設備投資に係る固定資産税の特例措置の実施にあたって、その軽減割合について条例で定めることとされたため、本条例の一部を改正するものです。

議案第8号

特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例

都市部から移住し、地域おこしに関する活動を担う「地域おこし協力隊員」について、その移住に当たっての

収入面の不安を和らげることで、募集に対するより多くの応募を促し、より良い人材の確保につながるため、報酬を増額するものです。

議案第9号

上倉・瓶岩北辺地に係る総合整備計画(第1次変更)について
平成29年度から平成31年度までの3年間の上倉・瓶岩北辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画(総合整備計画)を策定し、事業を進めていますが、新たに林道及び橋梁の整備を行うため、同計画を変更するものです。

◆第402回 臨時議会◆

(4月26日)

◆主な可決議案◆

(議決結果は15ページ)

議案第1号

税条例等の一部を改正する条例

固定資産税の負担調整措置の延長、給与所得控除及び年金所得控除の引下げに伴う基礎控除の同額引上げ、平成30年10月1日以降のたばこ税の税率を段階的に引上げるものです。

議案第2号

国民健康保険条例の一部を改正する条例

例 国民健康保険における財政責任主体が県に変更されたことに伴う定義の変更及び課税限度額を引上げるものです。

執行部に問う

一般質問

6月議会では、農業・福祉・観光・教育など市政全般について4日間にわたる一般質問が行われました。それぞれの質問内容の一部を要約してご紹介します。

◇6月議会で行われた主な質問項目◇ (質問順)

- 1 福田佐和子** ①中学生自死再調査却下について ②安心の老後について(介護施設、介護職の確保の見通し、自己負担への助成、予防事業の拡大) ③文化会館建設の進捗状況について
- 2 高木正平** ①津波対策(命山の整備使命とは・保育所の高台移転・河川津波の予測と危険性) ②合計特殊出生率と再生産年齢人口 ③全国レクリエーション大会について(生涯スポーツの推進・障がい者スポーツの推進)
- 3 前田学浩** ①地方創生総合戦略の進捗について(合計特殊出生率、特産品の育成支援、還元水を活用した生産体制の構築、直販所の機能強化、農業基盤整備、地域コミュニティの強化、新たな集落活動センターの設立など)
- 4 今西忠良** ①地域公共交通網形成計画 ②市内バス路線の再編と生活路線の維持確保 ③防災・消防行政(住宅耐震化促進事業、住宅用火災警報器、無人航空機ドローン、消防力の強化、耐震性貯水槽)
- 5 神崎隆代** ①オリジナル婚姻届・出生届 ②オナガドリについて ③高齢者施策
- 6 村田敦子** ①公共交通 ②子育て支援・0歳児保育の拡充(公立保育所での実施)・ファミリーサポートセンター(7時～22時までの利用時間、援助会員宅での預り事故の注意) ③給付制奨学金の実施
- 7 浜田和子** ①福祉行政(障がい者就労支援について・保護家庭の進学支援について) ②廃棄物運搬業者について ③農業用重油タンクについて
- 8 土居篤男** ①買い物・通院難民をなくし、奨学金制度拡充を求める ②南海トラフ地震津波への備えの充実を求める ③十市ほ場整備の修正工事の実施を求める
- 9 山中良成** ①企業拡大の土地確保の必要性、日章工業団地に本市企業誘致、KBツツキの跡地利用、調整区域の必要があるのか ②中学校給食アンケート結果、食事時間確保の配慮、アレルギー対策食 ③観光(観光振興計画と観光開発審議会の必要性、観光診断、吾岡山周辺にスポーツ施設案)
- 10 有沢芳郎** ①公共工事に伴う総代、土木委員、水利委員の役割とは ②東京オリンピック・パラリンピックに向けての方向性と取り組みについて
- 11 野村新作** ①文化行政・オナガドリ(保存会・後継者・保護増殖センター・支援制度・武市利右衛門碑)
- 12 土居恒夫** ①宅配ボックスの普及促進に補助を ②LCC誘致を ③図書館の取り組みについて(市立図書館と学校図書館連携、移動図書館の更なる充実) ④環境について(ハエ対策、石土池の浄化)
- 13 岩松永治** ①人口減少(少子化)に対する南国市としての取り組み ②保育・教育について(成果と課題) ③就学前の保育・教育について(1)子ども子育て会議(2)保育施設整備
- 14 西岡照夫** ①市道稲吉・篠原線の見通し(1)イオン出店の展望(2)大篠・中央公民館と文化施設合築への影響 ②(株)海洋堂とまちおこしセンター整備 ③都市計画道路南国駅前線(1)市のシンボルロードとして整備

福田佐和子 議員



文化会館建設に期待

問 市民からの陳情や前市長との約束は進んでいるか。検討委員会ではどんな意見が出たか。検討委員会は、幅広い市民の声を反映し計画することが責務。市民の期待に応え、建設を目指しているか。

答 今年度設計、用地測量、地質調査、農道の用途廃止を予算計上し、設計は仕様書の準備にかかっている。用地測量等は私道の絡みもあり、それと同時に進めていきたいと考えている。

委員の皆様には、規模とかホールの形状、大篠公民館の関係者より取り壊しから建設まで間があり過ぎるので

取り壊しは再考願いたいという意見が寄せられている。

音響や舞台の専門の方は、スポット的あるいは専門委員会など、外の形式にして意見を聞いていきたい。また、パブリックコメント、学校へのアンケートを検討している。



中学生自死再調査を

問 遺族は法に基づき市長の責任で再調査を求めたが却下された。判断の根拠は。独自調査したか。大津市の報告書は220ページ、南国市は48ページで、

同じ中学生の生命向き合う重さが違う。大津市は忘れない、繰り返し返さないとの意志が込められている。大津市を教訓に却下の再考を。

再調査実施の判断基準については、まず、この調査が公平性、中立性が確保される委員により実施されているかという点と十分な調査が尽くされているかという2点を判断基準と考え、その上で、今回の判断をした。御両親が納得をされないところはもちろんあると思うが、文部科学省から示されている背景調査と指針改訂版を参考に、公平性と中立性が確保された委員であるという認識で、今回の調査は十分調査がし尽くされていると判断している。判断基準をきちんと考えた上で、これについて再考はできないと申し上げたい。

高木正平 議員



津波対策

問 命山の整備使命は。安全と安心を実感できる施設の整備が使命だと捉えている。

答 命山付近の浸水予測状況を問う。

答 整備予定地で最大4・4メートルの想定である。

問 保育所の安全対策は高台移転と言うが命山整備基本計画への位置づけを問う。

問 命山高台へ統合保育施設新設の検討は。

答 事業の変更、構造、財政面などで命山への保育施設整備は厳しい。

問 河川津波の危険性と被害の予測を問う。

答 河川津波については、河川の遡上や越流の状況も踏まえた浸水予想図を作成している。物部川の津波は、国道55号線と県道南野市線の間まで越流し、物部川橋の約800メートル上流まで遡上。また、後川全域で越流して、秋田川は上流の王子川を遡上して県道南野市線の手前まで越流すると聞いている。

問 障がい者のスポーツ活動のニーズなど把握の状態を問う。

問 命山高台へ統合保育施設新設の検討は。

答 ままろばクラブ南国の競技スポーツ以外の環境づくり、地区公民館にまで活動域を広げた多様な機会の提供で生涯スポーツ推進が図られていると考える。

問 スポーツ推進委員との連携による生涯スポーツの充実を図る取

問 命山高台へ統合保育施設新設の検討は。

問 障がい者のスポーツ活動実施の場や交流の場の状況は。

答 南国市民に限ることにとらわれず、エリアネットワーク事業も平成28年度から始まっているので、近隣市町村と連携のもと実施できればと考えている。

問 命山高台へ統合保育施設新設の検討は。

問 障がい者のスポーツ活動実施の場や交流の場の状況は。

答 南国市民に限ることにとらわれず、エリアネットワーク事業も平成28年度から始まっているので、近隣市町村と連携のもと実施できればと考えている。

問 命山高台へ統合保育施設新設の検討は。

問 障がい者のスポーツ活動実施の場や交流の場の状況は。

答 南国市民に限ることにとらわれず、エリアネットワーク事業も平成28年度から始まっているので、近隣市町村と連携のもと実施できればと考えている。

問 河川津波の危険性と被害の予測を問う。

問 障がい者のスポーツ活動実施の場や交流の場の状況は。

答 南国市民に限ることにとらわれず、エリアネットワーク事業も平成28年度から始まっているので、近隣市町村と連携のもと実施できればと考えている。

前田学浩 議員



ふるさと寄付金

問 寄付金の呼びかけは充分か。

答 総務省の通知により、昨年11月から返礼品の割合を寄附金の3割に引き下げている。これにより、引き下げ前に比べ寄附件数は減少しており、呼びかけ及びPRは十分ではないと感じている。

問 総務省の通知もあり、今後、より寄附金も少なくなっていくと思うが、今年度の目標が8千万円とされ、さらに、来年度の目標額は1億5千万円のままであるが、これはどう解釈すれば良いのか。

答 30年度は件数が3割程度下がっても、29年度と同額は確保した

く8千万円の目標を立てている。31年度に向けては、特産品の充実により件数増を目指し、件数減を少しでもカバーしたいと考え、金額的には1億5千万円としている。

本市には、全国的な知名度が低いものの魅力のある特産品が多くあり、そうした商品を全国に紹介し、販売促進につなげることに

よって、結果としても本市のふるさと寄附金につながるかと考えている。

国営緊急ほ場整備

問 地区委員が主に説得で回っていた昨年度末及び直近の仮同意率、仮同意面積は。

答 現在の同意率は約92%、面積は568ヘクタールとなっている。

問 仮同意率が少ない地区があるが、地方創生総合戦略の目標である600ヘクタールは

見通せているのか。

答 小さな面積もできる限り減らさないように、事業への理解、協力が得られるよう委員会、市、県の力を結集して、粘り強く説得を続けていく以外にはないと考えている。

問 1年延びたことを地権者に報告の必要があるのではないか。

答 現在、今月末の仮同意の結果で、どのよう判断されるか示されていくものがなく、予定どおりの着工ができなくなったこと以外

は、着工自体の可能性、一定地域の範囲についてもお答えができない。着工の可能性等、一定の方向性が定まった時点での周知がタイムラグとしてはよいのではないかと考えている。ほ場整備委員会の意見もいただきながら、その方法、時期についても検討していきたい。

問 飛行ルールと法規

今西忠良 議員



無人航空機ドローン

問 ドローン導入の経緯・目的・活用方法は。

答 災害時に人が容易に立ち入れない危険な場所において、消防活動上必要な情報の収集と調査を安全かつ迅速、広範に実施することを目的として、今回導入を予定している。

問 どのような機種で、訓練と操縦は。

答 映像をリアルタイムで確認が可能なPHANTOM4 PROという機種で、飛行時間が約28分程度の小型な機体を考えている。導入後には操作方法の研究等を実施して、職員のレベルアップを図りたい。

問 飛行ルールと法規

制について、飛行制限と禁止区域は。また、捜索・救助等で飛行する場合の特別措置は。

答 基本的には航空法の規制があり、飛行してはいけない場所、方法がある。どちらも国土交通大臣に申請して許可もしくは承認を得る必要があるが、国もしくは地方公共団体が捜索救助のために飛行する場合には、飛行禁止区域や飛行方法の規制は適用されない。

問 条例制定の必要性はあるか。

答 全国の先進自治体では条例化している例があるが、南国市においては今すぐ条例化の必要性は低いのではないかと考えている。

問 バス乗務員不足対策と待遇改善

問 バス事業者も努力しているが、要員不足により現行のダイヤと便数にしわ寄せを来し

ている。行政を初め周囲の支援を受けながら市民の移動の権利を保障しなければならぬ。待遇改善へ官民挙げての取り組みを問う。

答 とさでん交通株式会社での路線バスの乗務員不足は深刻で、平成31年10月以降の運行は厳しいと返事をいただいている。それ以降の公共交通の維持をどう図っていくかが第一の課題になる。対策としては、路線バス事業者以外にも公共交通路線の担い手となること

が可能となるように、市が道路の運輸法上の登録を受けた上で運行委託する形態を持つ、いわゆるコミュニティバスで運行する形も視野に準備を進めている。利便性については、それぞれ地域の移動需要があるので、また個別に対応していきたいと考えている。

問 飛行ルールと法規

神崎隆代 議員



オリジナル婚姻届・出生届

問 自治体独自の届出書作成が増えている。本市でも人生の節目を祝福する気持ちを込め、市制60周年記念の一環として取り組んではどうか。学生等から公募する方法は市のアピールにもなるがどうか。

答 オリジナルの届け出書は、高知県ではまだ事例がないが、市民の婚姻や出生を祝う気持ちを伝えるものであり、南国市に住んでよかったという気持ちを持ってもらえる一つの取り組みだ。デザインの公募は、若い方も一緒に南国市の未来を考

えるきっかけになると思う。届け書などは、広告を入れることで経費をかけずに取り組めるものもあるので、デザインの公募も含め、60周年記念事業への提案としても、定住促進施策の一環として関係課と協議をしていく。

オナガドニコニコランド

問 飼育者の高齢化や飼育技術を継承する後継者がいないことへの見解は。

答 広島大学生産学部教授や県文化財保護審議会委員の助言、会員相互の情報交換等を積極的に進める必要がある。

問 公的保護の具体的な計画や構想は進んでいるのか。

答 これまでに検討してきた内容は、施設の規模、飼育羽数240羽、面積は概算で1,400平米、運営経費の試算を行っている。

文化庁の予算の関係で、整備する場合は設計と施工年度を分けることになるかと思う。用地選定のみならず、施設をつくった場合に、他の飼育者に指導できるような人材の確保や運営のあり方も急ぎ検討する必要がある。

問 目的を持った計画を作成し、クラウドファンディングを活用した資金調達について市長の見解を問う。

答 施設整備の前段に整備計画が必要で、それをまず詰めてから、クラウドファンディングを使うならいくらかいつまでに集めるといいう形になるかと思う。また、この施設については、国の補助事業があり、地域活性化事業債という地方債もある。30%は交付税措置があるという地方債の活用も検討し、整備について考えていきたい。

村田敦子 議員



免許返納でも大丈夫

問 少ししか歩けず、駅にも行けないので、通院や買い物、家族の送迎等で危なくても運転せざるをえない状況にどう対応するのか。

答 安心して返納ができる環境づくりが必要と考えている。返納後の移動について、例えば、健康のために可能な範囲は徒歩での移動を推奨するとか、公共交通を利用するとか、返納希望者の心理的な抵抗感を払拭する後押しについて、さまざま

5千万円で運営。当市も市内交通維持費に1千5百万円増で実行可能だ。実現を。

答 総社市のようなデマンド型の公共交通は、確かに理想と思うが、費用的な面をもう一度、今の公共交通会議の中でも検討しているので、その中で方針を決めていきたい。

学ぶ意欲の後押し

問 県下でもいち早く取り組んだ低所得世帯学習支援の効果は。

答 学習支援については、まず中学から高校への進学を目指し、高校に進んだ子どもについては、次の進学への支援を行っている。大学まで行く方、就職または専門学校へ進む方について、適宜先生方が相談に応じて、本人及び保護者に対しての支援を行っている。

問 大学卒業時に30万円以上の学生ローン

を背負う現状で、貧困の連鎖を断ち切れるか。奨学金給付を行い6年前に高等教育無償化を批准しながら、今年2万人分しか実行しない国に対し完全実施を求めよ。

答 高校生、大学生、困り度合いとかの問題、全部できるわけではないので、どちらが優先順位が高いのか検討している。

無償貸与の実績も予算の満額まで及ばないのが実情だ。これは、金額を上げるのか、何が課題なのか、国の大

学生への給付対象が拡大されるのかという点とも合わせた中で、高校生に対してどうあるべきなのかを総合的に検証する必要があると考えている。

浜田和子 議員



農業用重油タンク

問 地震時に二次災害を防ぐための地震対応型タンクの進捗状況は。

答 燃料タンク対策事業での更新は9基となっている。

問 J Aの基本的対応方針と市の取り組み目標値、具体的な計画を問う。

答 J A所有タンクの更新は、補助残の部分もJ Aが費用負担し、個人所有の防油堤についても農家負担が4万円以内となるように支援し、計画的に推進を図っていくとのことだ。地震の防災・減災対策として早急に行うべき案件なので、目標として30基程度は進めることが必要と思う。課

題解決の方策をJ Aと協議しながら、早急な実施に向けて、積極的に計画していかなければならない。

問 補助金を適用するため、防油堤とセットとなっているが別々にしたほうが進むのでは。

答 現在、活用している

防油堤設置もタンクの更新と一体的に進めることが効果的であることと、行政として進めていくには一体で整備すべきという判断で、タンクのみ更新は事業の対象としていない。ただ、事業が進まない大きな原因であるなら、県と協議する必要があると考える。

障がい者の就労支援

問 特別支援学校在校生や現在B型就労の方の中でもA型就労を希望する方もいると思うが、現状を問う。

答 本人の意向を十分

確認し、A型就労を希望する場合は支援を行っていい。B型就労から一般就労に行く方もいるが、希望する職種がA型がないこともあると推察している。

問 希望に合ったサービスが利用できるようA型を増やす支援が求められる。所見を問う。

答 障害者福祉計画で中央東圏域では、現在は必要量は満たしているということ、A型をふやすことは難しいのではと考えている。

問 障がい者の賃金は最低賃金は保障すべき。意識改革を求める。

答 工賃アップには、まず発注をふやすことが必要と考えている。

物品を調達する際は優先的に障害者就労施設から行っており、南国市も、市障害者就労新施設等からの物品等の調達方針を作成し、各課に周知している。

問 特別支援学校在校生や現在B型就労の方の中でもA型就労を希望する方もいると思うが、現状を問う。

答 本人の意向を十分

土居篤男 議員



買い物・通院難民をなくすこと

問 高齢者の交通事故が多発している。また、運転免許の返還者も増え、買い物や通院に不便をきたしている。介護に係わる施策は充実しているが、買い物・通院難民をなくす交通施策の充実を求める。

答 高齢化の進行により全国的にも高齢運転者の事故が相次いでおり、車を運転しなくても、生活の足として買い物や通院に不自由をしない交通が求められている。現在公共交通のあり方について、その計画の検討がされているところである。福祉施策としての買い物

支援等も並行して、その協議を進めていきたいと考えており、高齢者が住みなれた地域で安心して生活できる基盤づくりを進めていきたいと考えている。

十市ほ場整備地盤変形の修正工事を

問 十市ほ場整備後に地下の構造物や地盤沈下の影響で、耕土が浅くなったり深くなったりして耕作に支障をきたしている。県より農面道路の建設依頼時に整備すると言われたこともあり、修正工事を行うよう求める。

答 県と土地改良区との間でほ場整備を実施する際に、整備後の影響についてのやりとりをした記録は、県に問い合わせしたが、保存期間の5年を過ぎたことで廃棄をされているものとのこと、今となってはそのような文書があったのかも確認

はできない。なお、土地改良区で保管されている総会及び理事会等の議事録の中に、内容にかかわるものがあるかもしれないとのことである。建設課としては、農地に限らず、個人の土地の地盤の改良、補修するメニューはない。工事残土については、現在、当課の事業による利用可能な残土はないため、他事業に声をかけて、利用可能な残土の手配をしている。



山中良成 議員



企業拡大の土地確保

問 K Bツツキの跡地利用と無償提供した1億円の土地返却について問う。

答 K Bツツキ側で跡地利用について検討している。この用地は無償提供ではなく売買契約と思うが、昭和40年代前半の書類で所在が確認できていない。

問 日章工業団地の募集方法と決定方法は。

答 入居企業の選定方法等は、今後県と協議しながら決定していく。

問 本市企業が優先されるべきで、県に要望する必要があるのでは。

答 事業所選定の際には事業拡大も含めて税収増や雇用の拡大を考慮しながら協議する。

問 本市企業から多数の要望があったが、本市の考えを問う。

答 本市独自の地区計画制度の活用、新たに運用開始した特定エリアにおける高知県開発審査提案基準第23号などを活用することにより、産業振興、雇用の場の確保を図り、今後も規制緩和を常に探っていききたい。

中学校給食の改善

問 給食センター運営委員会が出た意見は。

答 アンケート回収率。親子アンケートの実施や設問の中身の検討。献立に関して、たんぱく源を何で摂取するか。物資の入札方法。親子での試食会実施などの要望をいただいている。

問 その意見に対する取り組み、開始はいつからか聞く。

答 アンケートは内容を検討して実施したい。献立は、植物性、動物

性タンパク質のバランスを考えて工夫改善に取り組んでいる。物資の入札は、安全性を最優先に良質で安価な購入に努めたい。

親子での試食会は、各中学校、PTAに実施に向けた働きかけを行っている。

問 アンケートにより改善されたか。

答 量が少ないという意見には、1月から量をふやし、デザートが少ないという意見には、4月から献立の改善に取り組んでいる。

問 現在の給食費への本市負担や、入札改善も必要ではないか。

答 1食あたり300円程度で栄養価は不足しておらず、アンケートの結果を見ても、量的に少ない、逆に多いと答えている生徒もいる現状を踏まえて、現段階では公費の投入は考えていない。

有沢芳郎 議員



公共工事に伴う土木委員の役割とは

問 土木委員の境界立会なく手続される公共工事は、許可権者の行政自ら違法な行為を犯しているとの誤解されぬようルールの遵守を。

答 地籍調査事業においては、地権者と地籍調査推進委員が立ち会いをされ、建設課の土木工事に係る農道水路の境界確定は、土木委員が立ち会ってやってきたと理解している。それぞれの担当課でルールを決めて行っているところ、それを統一するとすると、規則なりを定めて統一見解を持たなければならぬと思う。

問 身分は地方公務員

である土木委員について土木委員設置規則を設けないのか。

答 他の市町村の状況もあるかと思う。実際は定められてない市町村が多いかと思うが、どんな形で今後やっていかねばならないのかも考えあわせて、高知市の法令を確認し検討したい。

東京オリンピック・パラリンピック

問 南国市はホストタウンとして、シンガポールのバドミントン選手との交流を図ることになったが、どのように取り組むのか。

答 ハード面は、今年度はアリーナの床を研磨、カーテンを交換予定である。来年度は、案内板の多言語化及びトイレの洋式化を行いたい。ソフト面では、体育協会の実施するスポーツアカデミーにおいてオリンピックを招

聘しての教室トークショー、児童・生徒を対象とした異文化教室を実施すべく調整中だ。事前合宿が決定すれば市を挙げての取り組みとして対応したい。

問 県が実施するフラッグツアーについて、展示場所や内容、フラッグを使用したイベントの取り組みを問う。

答 スポーツセンターのエントランスを予定し、展示内容は、オリンピック、パラリンピックのフラッグ、説明パネル、フラッグツアーの説明パネルなどを展示すべきものとされている。

他県の事例を参考に、何がしかのイベントを通じて、たくさんの児童・生徒にフラッグに触れていただきたいと考えている。

野村新作 議員



オナガドリ保護増殖センター

問 現在のオナガドリの飼育環境を考えると、保護増殖センターの設置がベストだが、平成2年の質問時より一向に進展の様子が無い。飼育者からは「市はやる気があるのか」との声も聞かれる。今後の速やかな対応について問う。



答 保護増殖センターが整備されれば、センター職員による直接的な支援も行えるような仕組みが望まれる。センターの整備については、大きな箱物建設を控えており、直ちに着手できるものではないが、保存会等でも議論して適地の選定に努めていく。

オナガドリ飼育後継者、支援制度

問 見栄えのするオナガドリを育てるには、大変な努力と忍耐が必要で、経済的にもゆとりがないとできない。

若い人ができる仕事ではない。現状では飼育者数は先細りになるのが目に見えている。思い切った支援制度が必要ではないか。

答 大篠尾長鶏保存会は現在、会員数8名で288羽を飼育している。70歳を超える会員が2名と飼育方法の継承が大きな課題となっている。広島大学生産学部教授や県文化財保護審議委員の助言、会員相互の情報交換をもっと積極的に行っていく必要がある。

オナガドリ関連の市の予算は、調査員への報償費、保存会への委託料、餌代で現在は108万円となっているほか、ワクチン等の需用費、また、止め箱、ふ卵器の備品を購入して、会員への貸し出しを行っている。

若い人ができる仕事ではない。現状では飼育者数は先細りになるのが目に見えている。思い切った支援制度が必要ではないか。

土居恒夫 議員



図書館について

問 学校図書館は子どもに読書習慣を身につける。図書館の大切さや魅力を伝えるためには図書館教育が欠かせない。学校と市立図書館との連携が必須。

答 市立図書館と学校図書館は別のシステムで、求める機能に差があること、セットアップ・データ移行費用を考慮すると、システム統一の結論には至らなかった。システムの統一には配送が重要となるが、定期的な配送回数には月1回のみとなっている。現在の人員と予算では月2回までは何とか可能で、この回数をふやすことにまず取り組んでいきたい。

問 移動図書館たちはな2号は、市立図書館を利用しづらい市民に多く愛されているが、更なる充実を。

答 移動図書館に何らかの付加価値を持たすという話で、日用品の販売等については中山間対策なども係わってくる。市内関係各課で費用も含めた議論をしたい。人の集まるさまざまな場所へ、シーンを追い求めて移動図書館を運行させることは、次回の図書館協議会で議題として提案したい。

環境について

問 市南部で季節によりハエが大量発生。施設園芸での有機肥料も原因の一つ。ちりめんじゃこの加工所もある。地域住民の衛生も考慮し、補虫製品等を含む補助を。

答 営農改善会のハエ対策に関する予算も増額し、主に捕虫スプレ

1等の購入費に充てている。これだけで対策が難しいならば、補助事業の創設も視野に入れていく必要がある。

有機肥料を使用しながらもハエを発生させにくい施肥方法の検討や、ハエを中に入れないう、外に出さないなどの多面的な対策に、県市、JAが連携して取り組むことが重要だ。

問 石土池は、ホテイアオイの枯死により池底がヘドロ化。水質汚染や陸化への対策を。

答 石土池の浄化については関係機関団体とともに多年にわたって取り組んでいるが、いまだ解決には至っていない。環境浄化微生物えひめAIの活用も含めて、今後検討協議を図っていきたい。

岩松永治 議員



保育施設整備

その事業目的や財源内訳など、詳細な計画案をもって再度お話しということであれば、平成学園より説明をお聞きしたい。

問 平成学園ひまわり幼稚園が園舎建て替えを計画している。著名な隈研吾氏が設計を担当し、CLTを活用した先進的な建築物となり、高知県初の新園舎となる。財政的な支援も含め、今後どのように支援していくのかを市長に問う。

答 平成学園が予定されている時期は、市においても大型のハード事業整備が予定されていること、老朽化が進む長岡西部保育所施設整備も予定されていることなどにより、平成学園の時期での財政支援は難しいことを説明させていただいた経緯がある。しかしながら、

隈研吾さんの設計、CLTの活用という点で、本当にありがたいことと思っている。

総額、財源内訳、事業目的、それら詳しい情報、議員の皆様にも説明できる資料がそろえば改めて考えたい。

就学前の保育・教育について

問 子ども子育て会議の目的を問う。

答 子どもの保護者、関係団体などで構成されており、子ども・子育て支援事業計画や子ども、子育てに関する総合的な事業推進などに関し、委員より意見をいただく会議となっている。

問 この会議が施策にどう反映されてきたか。

答 委員の意見をもとに事業計画の策定を行い、子育て支援を進めている。放課後児童クラブ新設整備の推進、またファミリーサポートセンター事業や子育て支援の相談援助、情報提供などを行う利用者支援事業を開始し、サービスの量の拡大を図った。まだ実現していないが、公立保育所でのゼロ歳児保育を進めたいと考えている。質の向上では、市幼児教育研究会などで、保幼小連携の推進に取り組み、保育過程や改定保育指針の研修会開催などを実施し、保育士の質の向上に努めている。

問 会議(次第、資料、議事録)の情報公開が必要ではないか。

答 他の子育て支援に関する情報利用方法などとともに、子ども・子育て会議の情報発信について、実施をしたと思う。

西岡照夫 議員



市道稲吉・篠原線の見直し

話を伺いたいと思っている。

公民館の建築は、稲吉篠原線を建築基準法の接道として本年度指定を受ける予定だ。指定を受けると、道路が未完成でも接道として公民館の工事が行える。

問 平成24年3月議会ですり道認定が議決されているが、6年余り経過している現在でも完成見通しが立っていない。この市道の進捗にはイオンの出店があると思うが、現在の状況及び、大篠・中央公民館と文化施設合築への影響について伺う。

答 市道稲吉・篠原線終点部の法線を見直しているところだが、それ以外の道路計画の変更はない。イオンの出店によって今の市道の計画が、その中でどのように取り扱われるかという兼ね合いはあったと思う。またイオン側と会う日を設定し、

都計道南国駅前線

含め、遅くても平成34年度中の整備完了を行いたい。駅前広場は、具体的には決まっていすが、ロータリーの設置や大型バスの乗り入れなど交通結束機能の強化を図ることはもちろんのこと、市民や交通事業者などの意見を取り入れて、整備方針を検討していきたいと考えている。

問 JR後免駅までの完成時期、駅前広場はどのようなになるか問う。市の顔となり得る道路で、無電柱化して歩道にアンパンマンのキャラクターや海洋堂のフィギュア等設置し全国発信するとともに、シンボルロードとして名称を公募してはどうか。

答 駅前広場の整備を

キャラクターやオブジェ等の設置、良好な道路空間の演出や魅力ある歩道空間を創出するための街灯、ベンチ、水飲み場、案内板などのストリートファニチャーの設置や舗装のデザイン化なども含め、全国に発信できる南国市の顔にふさわしい魅力的で個性的な景観の創出が図られるよう整備方針を検討したい。シンボルロードの名称等は、多くの市民から募集を行いたいと考えている。

常任委員会 視察レポート

総務常任委員会

(5/9~11)

茨城県桜川市・ 栃木県小山市

マンド型乗合タクシーを運行しており、買い物や通院など高齢者などの交通手段として定着しています。

桜川市では、市民の声を反映した運行ルートにより公共施設や病院などを結ぶ「ヤマザクラGO」の運行と共に、予約により自宅や指定の場所から目的地へ希望する時間帯に1人1乗車300円で

小山市では市役所消防団員、大学生消防団員、OB消防団員、事業所消防団員などによる機能別消防団員制度や消防団協力事業所制度を導入し、火災の予防、啓発はもとより救急・救助のほか地震、風水害等への対応にま

で地域住民の安全・安心の確保、大規模災害時に備えた地域防災力の強化に取り組んでいました。

産業建設

常任委員会

(5/15~17)

兵庫県豊岡市・ 京都府綾部市・ 石川県小松市

豊岡市城崎は、商工会、温泉協会、温泉旅館協同組合の民間3団体が「城崎このさき100年会議」を立ち上げ、ビジョン作成や専門家によるインバウンド対策を行い、また、まち会社「湯のまち城崎」によって、収益を上げてまちづくり投入しています。

綾部市では、市街化調整区域を廃止し、多くの企業誘致と定住促進ができており、市民へのアンケートで6割

教育民生 常任委員会 (5/22~24)

以上が賛成し、各地区の説明会でも反対意見がなかったことから成功している事例と感じました。
小松市では、アグリウェイプロジェクトによりトマトハウス栽培のICT化や地元農産物の6次産業化事業を行い、農産物の価値を上げるだけでなく、後継者育成のための施策を行っていました。



山形県上市市・南陽市・茨城県取手市

上市市のマイレージ事業では、市民の健康づくりにポイントを付与し、ポイントが貯まるとカードが発行されます。カードは事業協力店でサービスを受けられるほか、健康グッズ等が当たる抽選券にもなっており、参加者が増加しています。

南陽市の文化会館は、全国初の大型木造耐火建築で、1,500人と500人収容の大小のホールを備えた複合



施設です。小ホールは使い勝手も良く市民利用も50%以上あり、稼働から2年8カ月で約53万人に利用されました。

取手市の取手ウェルネスプラザは、健康・福祉に関する施設と400人収容の多目的ホールがあり、可動式の既定席により多様な利用ができるほか、100人収容のセミナールーム、保健センター、クッキングスタジオ、キッズプレイルームが備わっていました。





全国市議会議長会 議員表彰

5月末に東京で開催された全国市議会議長会定期総会において、本市議会から次の議員が表彰され、6月定例議会の初日に伝達式が行われました。

《特別表彰》

- ◇正副議長8年以上
西岡照夫議員
- ◇議員30年以上
今西忠良議員
西岡照夫議員
福田佐和子議員

《感謝状》

- 西岡照夫議員
岡崎純男議員

《一般表彰》

- ◇議員10年以上
小笠原治幸議員

- 岡崎純男議員
村田敦子議員
前田学浩議員

《社会文教委員会委員》

H29年度 政務活動費の報告 (年間交付金額12万円で、超過分は自己負担)

※交付申請した議員のみ

議員名	神崎 隆代	植田 豊	浜田 憲雄	山中 良成	岩松 永治	西川 潔	土居 恒夫	高木 正平	有沢 芳郎	中山 研心
支給額 (円)	57,424	82,468	120,000	120,000	120,000	0	52,181	103,846	120,000	119,858
主な 支出項目	研修費・ 資料購入 費	研修費・ 資料購入 費	調査研究 費・研修 費	広報費	研修費		研修費・ 資料購入 費	研修費	調査研究 費・会議 費	広報費・ 資料購入 費

議員名	前田 学浩	岡崎 純男	野村 新作	浜田 和子	浜田 勉	土居 篤男	福田 佐和子	西岡 照夫	今西 忠良
支給額 (円)	120,000	55,300	73,512	0	85,010	0	8,400	67,370	120,000
主な 支出項目	調査研究 費・研修 費	研修費	調査研究 費・資料 購入費		研修費		資料購入 費	調査研究 費・研修 費	広報費・ 資料購入 費

議 会 日 誌

4 月	9日・市政連絡会 ・高知縣市議会議長会定期総会 (高知市) 11日・市議会だより編集委員会 26日・第402回市議会臨時会
5 月	7日・市政連絡会 8日・四国市議会議長会定期総会 (高知市) 9～11日・総務常任委員会行政視察 (茨城県桜川市・栃木県小山市・ ふるさと回帰支援センター (東京)) 15～17日・産業建設常任委員会行政視察 (兵庫県豊岡市・京都府綾部市・ 石川県小松市) 22～24日・教育民生常任委員会行政視察 (山形県上山市・南陽市・茨城県 取手市) 23日・全国民間空港所在都市議会協議会 (東京) 30日・全国市議会議長会定期総会 (東京)
6 月	4日・市政連絡会 11日・議会運営委員会 12～25日・第403回市議会定例会 12日・市議会だより編集委員会 25日・市議会だより編集委員会

行政視察受入状況

【H30.4月～6月】

自治体名・人数 (会派名等／視察内容)

- 4月25日 千葉県船橋市・3名
(自由市政会／防災・避難タワー)
- 5月9日 山形県鶴岡市・9名
(産業建設常任委員会／
物部川DMO)
- 18日 宮城県岩沼市・7名
(総務常任委員会／
防災・避難タワー)
- 22日 島根県出雲市・10名
(環境経済常任委員会／
地産地消・農家レストラン)
- 6月28日 大阪府大阪市・4名
(公明党／食育推進計画、
防災・避難タワー)



議会中継のお知らせ (一部変更)



南国市議会では、3月定例議会よりインターネットストリーミングサービスを利用した議会中継を行っています。

ライブ配信 (生中継) はUstream (ユーストリーム) を利用して中継していましたが、Ustreamの配信サービスの変更に伴い、録画中継同様にYouTube (ユーチューブ) を利用した中継に変更予定です。

◇議会中継の視聴方法

市ホームページの南国市議会から「議会中継」を選択し、「南国市議会中継 YouTube (ユーチューブ)」をクリックすると、YouTube内の南国市議会のページにつながります。

(※議員毎に分割した動画は、編集作業等に日数を要するため、当該議会が閉会して30日以降) に視聴できるようになります。



南国市議会 YouTube

議決結果一覧 (4月臨時会・6月定例会)

■ 4月臨時会 (4/26)

◆ 議案

- 1号・税条例等一部を改正する条例……………全会一致で可決
 2号・国民健康保険税条例の一部を改正する条例……………全会一致で可決
 3号・特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例……………全会一致で可決

◆ 報告

- 1号・平成29年度一般会計補正予算の専決処分の承認について……………承認
 2号・損害賠償の専決処分の報告について

■ 6月定例会 (6/12~25)

◆ 議案

- 1号・平成30年度一般会計補正予算……………全会一致で可決
 2号・平成30年度水道事業会計補正予算(第1号)……………全会一致で可決
 3号・データヘルス計画評価策定委員会設置条例……………全会一致で可決
 4号・指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例……………全会一致で修正可決
 5号・指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例……………全会一致で可決
 6号・指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例……………全会一致で可決
 7号・税条例の一部を改正する条例……………全会一致で可決
 8号・特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例……………全会一致で可決
 9号・上倉・瓶岩北辺地に係る総合整備計画(第1次変更)について……………全会一致で可決
 10号・消防ポンプ自動車購入契約の締結について……………全会一致で可決
 11号・消防ポンプ自動車購入契約の締結について……………全会一致で可決
 12号・災害対応特殊消防ポンプ自動車購入契約の締結について……………全会一致で可決
 13号・教育委員会委員の任命の同意について……………全会一致で同意
 14号・固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について……………全会一致で同意
 15号・人権擁護委員の推薦について……………全会一致で同意
 16号・人権擁護委員の推薦について……………全会一致で同意

◆ 報告

- 1号・平成29年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
 2号・平成29年度企業団地造成事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について
 3号・平成29年度水道事業会計予算繰越計算書の報告について
 4号・平成29年度下水道事業会計予算繰越計算書の報告について

◆ 議員提出議案

- 1号・地方財政の充実・強化を求める意見書(中山研心議員ほか19名)……………全会一致で可決
 2号・地方公務員法及び地方自治法の一部改正における新たな一般職非常勤職員の処遇改善と雇用安定に関する意見書(中山研心議員ほか19名)……………全会一致で可決
 3号・日本年金機構の情報セキュリティ対策の見直しを求める意見書(浜田和子議員ほか19名)……………全会一致で可決
 4号・ヘルプマークのさらなる普及推進を求める意見書(神崎隆代議員ほか19名)……………全会一致で可決
 5号・日本政府が核兵器禁止条約の批准作業を進めることを求める意見書(福田佐和子議員ほか19名)……………全会一致で可決
 6号・全国一律の最低賃金制度の確立と最低賃金の大幅引き上げによる地域活性化そしてそれを可能にする中小企業支援策拡充を求める意見書(土居篤男議員ほか19名)……………全会一致で可決
 7号・義務・高校標準法を改正し、抜本的な教職員定数増を求める意見書(村田敦子議員ほか19名)……………全会一致で可決

暑中お見舞い
 申し上げます

市民の皆様の御健勝を
 お祈りいたします。

平成30年 盛夏
 南国市議会議員一同

謹んで豪雨災害の
 お見舞いを申し上げます

この度の平成30年7月豪雨により被害を受けられた皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。一日も早い復旧と皆様の御健康を心からお祈り申し上げます。

平成30年 南国市議会議員一同



土佐の まほろば祭り

なんこく歳時季

巻

7

南国市の夏をエネルギーギッシュに盛り上げる一大イベントが今年も開催されます。30回目を迎える今年は、スーパーバンド、サンドイッチパーラーのライブのほか、多くのプログラムが予定されています。多数の出店や夜空に咲く花火もぜひお楽しみください。

■ 日 時／8月4日(土) 15時～21時30分

※雨天の場合は5日(日)に順延

■ 打上花火／21時頃

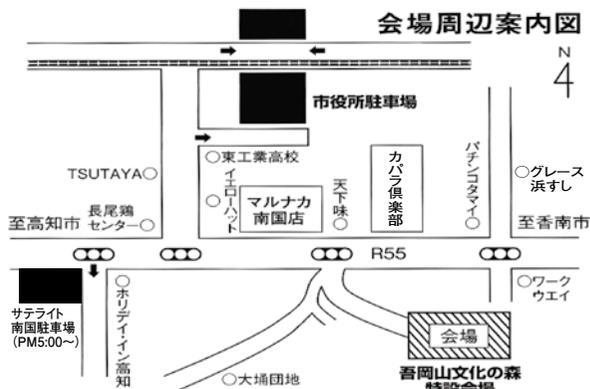
(空港の運行状況により開始が遅れる場合があります)

■ 場 所／吾岡山文化の森特設会場

■ 問い合わせ／商工観光課内

土佐のまほろば祭り運営委員会事務局

☎ 08800・65500



※マルナカ・セントラルなどに車は置かないください。

編集後記

台風7号から刺激を受けた平成最後の梅雨前線は、中国・四国地方に甚大な被害をもたらし、各方面に大きな爪痕と教訓を残しました。

この度の豪雨により、被災された皆様に心からお見舞いを申しあげると共に、近い将来必ず発生する南海トラフ地震に対しても、油断なく十分な備えをと気持ち新たにするところです。

さて、香長平野は稲穂が実り、稲刈りの時期と同時に夏も到来です。花火大会や納涼祭などのイベントを通じ、楽しい交流の輪が広がる中で、多くの方々との出会いを楽しみにこの夏を乗り切っていきたいものです。

(浜田憲雄)

◎市議会だより編集委員会

- 委員長 神崎隆代
- 副委員長 中山研心
- 委員 浜田憲雄
- 〃 山中良成
- 〃 村田敦子
- 〃 土居篤男

◆『市議会だより』についてのご意見・ご要望がありましたらお寄せください。